

まち歩きの結果(北東Aコース班)

<名所の説明>

- ・不動寺の松がどこにあったかの説明が欲しい
- ・音声で説明するような場所があってもいい
- ・稲葉三右衛門の旧家の説明や案内が欲しい
- ・潮呼橋跡に案内や説明が無い
- ・思案橋のどれが史跡なのかマップに示す

<商店街>

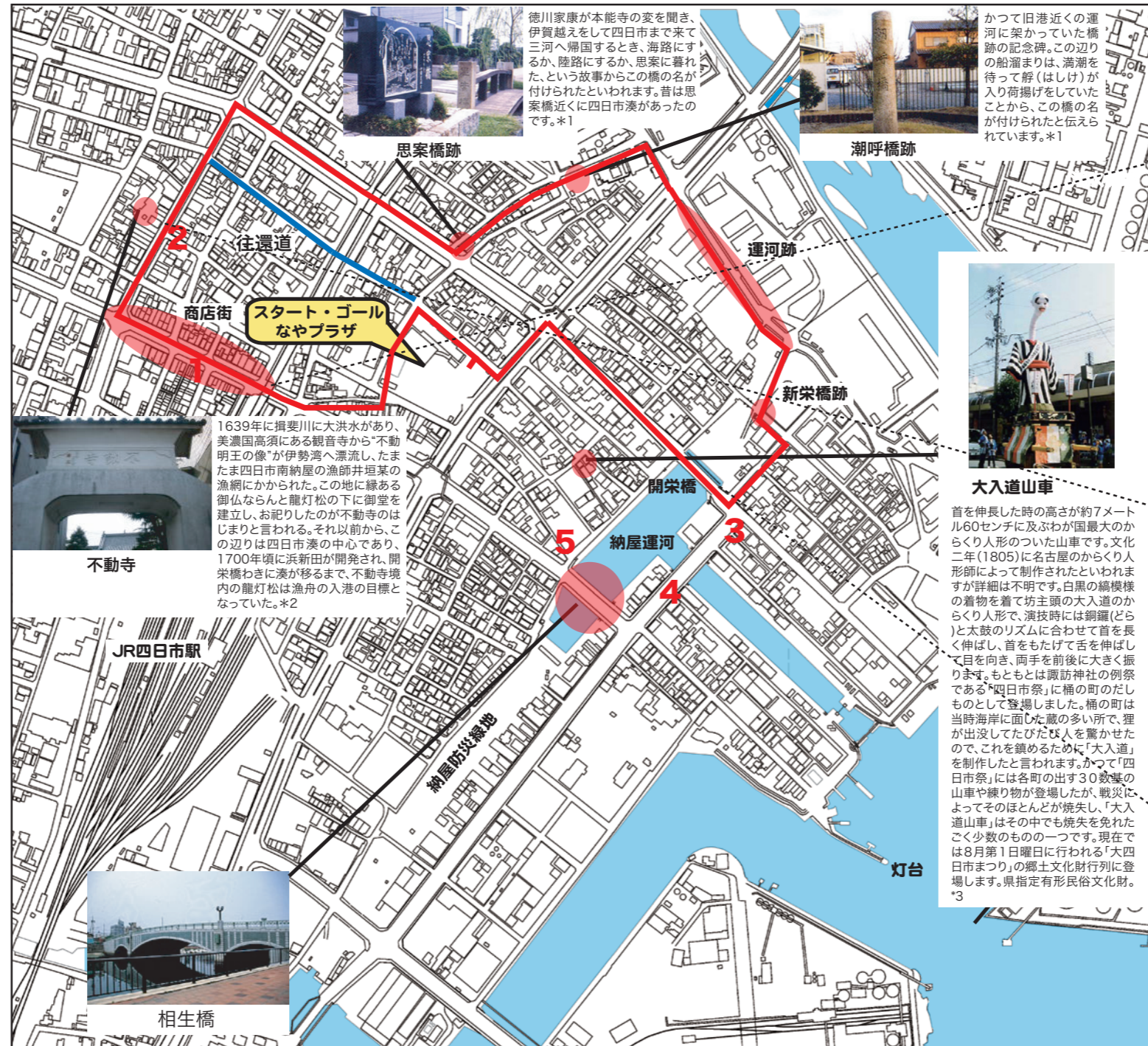
- ・薄皮まんじゅうや永餅等お菓子の有名なお店が数件ある
- ・本町プラザに昔の写真や山車が展示してある
- ・アーケードの天井には東海道五十三次の絵が複数架けられている

<散策ルート>

- ・往還道は是非通ってほしい
- ・思案橋、不動寺、稲葉三右衛門の旧家

<散策マップのアイデア>

- ・各名所の昔と現在を比較した説明(不動寺の松がどの辺りにあったか)等が欲しい
- ・現在の観光案内所の場所がわかりづらいので明記した方がいい
- ・その場に説明の無い名所もあるので、マップに載せた方がいい
- ・お店の情報を載せる際には、商品の割引券を付けるといったアイデア・商店街の協力が必要
- ・末広橋梁が何時に上がるかタイムスケジュールを載せる
- ・車いすでも安全かどうかの表示



*1: 出典: 国土交通省中部地方整備局四日市港事務所HP
http://www.pa.cbr.mlit.go.jp/YOKKAICHI/01yo_library/guide.html

*2: 出典 四日市の昔を語る大樹たち
http://happytown.orahoo.com/phphope/view/v_genre_view.php?UserID=33469&GenreNo=6&GenreOID=6761164

*3: 出典 四日市市HP <http://www.city.yokkaichi.mie.jp/bunkazai/pages/data/32.html>

Aコース 約2.7km



本町通り

大正11年、伊勢鉄道乗り入れで西駅舎が完成し、商店街はますます栄えた。

現在の本町通り商店街
 ・アーケードがかり、道幅が広がっている。
 ・アーケードには五十三次の絵の看板がかけられている。

不動寺山門と竜灯松

昔はこの松の下まで入り江だった。竜の形をした松に灯明をつけて、灯台代わりにしたともいう。

現在の不動寺山門
 ・昔の山門の面影は現在残っていない。
 ・竜灯松も現在残っていない。

開栄橋

橋を渡った左手には四日市郵便局があり、半鐘の脇には浜往還の松が見える。橋のたもとの右手は四日市倉庫(株)、その奥の洋館は四日市銀行と倉庫や事務所が建ち並んでいた。

現在の開栄橋
 ・橋の幅が広がっている。
 ・松や洋館は現在無くなっている。

徳川家康が本能寺の変を聞き、伊賀越えをして四日市まで来て三河へ帰国するとき、海路にするか、陸路にするか、思案に暮れた、という故事からこの橋の名が付けられたといわれます。昔は思案橋近くに四日市湊があったのです。*1

かつて旧港近くの運河に架かっていた橋跡の記念碑。この辺りの船溜まりは、満潮を待って舳(はしけ)が入り荷揚げをしていたことから、この橋の名が付けられたと伝えられています。*1

1639年に揖斐川に大洪水があり、美濃国高須にある観音寺から「不動明王の像」が伊勢湾へ漂流し、たまたま四日市南納屋の漁師井垣某の漁網にかかられた。この地に縁ある御仏ならんと龍灯松の下に御堂を建立し、お祀りしたのが不動寺のはじまりと言われる。それ以前から、この辺りは四日市湊の中心であり、1700年頃に浜新田が開発され、開栄橋わきに湊が移るまで、不動寺境内の龍灯松は漁舟の入港の目標となっていた。*2

首を伸ばした時の高さが約7メートル60センチに及ぶのが国最大のからくり人形のついた山車です。文化二年(1805)に名古屋のからくり人形師によって制作されたといわれますが詳細は不明です。白黒の縞模様の着物を着て坊主頭の大入道のからくり人形で、演技時には銅鑼(どら)と太鼓のリズムに合わせて首を長く伸ばし、首をもたげて舌を伸ばして目を向き、両手を前後に大きく振りまわります。もともとは諏訪神社の例祭である「四日市祭」に桶の町のだしものとして登場しました。桶の町は当時海岸に面した蔵の多い所で、狸が出没してたびたび人を驚かせたので、これを鎮めるために、「大入道」を制作したと言われます。かつて「四日市祭」には各町の出す30数種の山車や練り物が登場したが、戦災によってそのほとんどが焼失し、「大入道山車」はその中でも焼失を免れたごく少数のもの一つです。現在では8月第1日曜日に行われる「大四日市まつり」の郷土文化財行列に登場します。県指定有形民俗文化財。*3

まち歩きの結果(北東Bコース班)

<散策>

- ・1時間で約2.4kmを歩くのは難しい
- ・本コースのみで考えるとインパクトに欠ける
- ・途中で屋内に入れる何か仕掛けがあると良い。

<景観>

- ・歩いていられる景観でない
- ・緑が少ないため、無機質な感じを受ける
- ・散策が楽しい道と名乗れる様景観に配慮し、工夫が必要(町並みの統一した整備・修復)

<案内>

- ・三滝通りから旧港への誘導サイン(看板、路面舗装)
- ・JR四日市駅からの誘導
- ・歴史的資源の内容を盛り込んだ看板の設置
- ・初めて訪れる人にも分かる案内板の整備
- ・声による案内テープの設置

<潮吹防波堤>

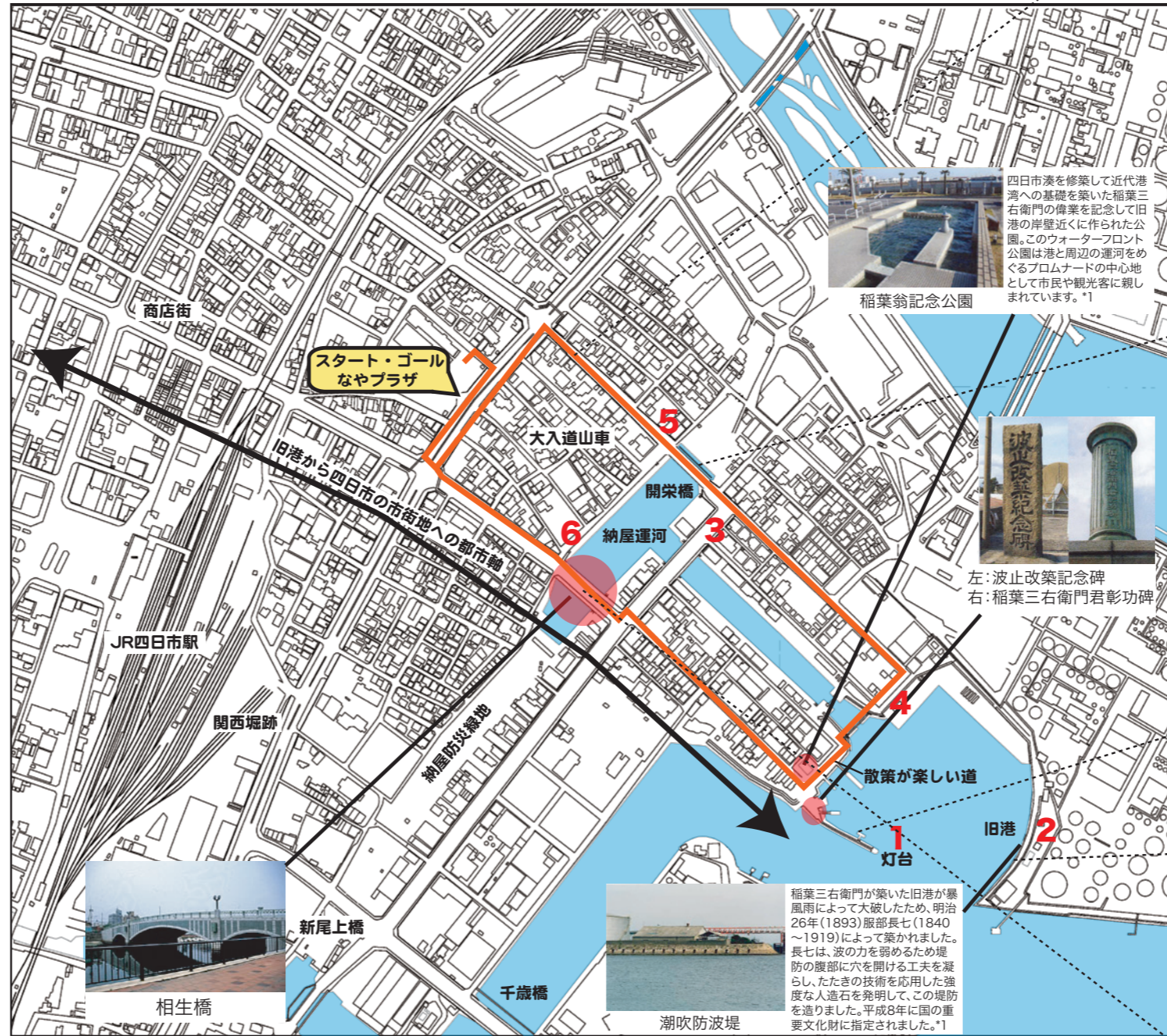
- ・潮吹防波堤は数少ないものなので、大いに宣伝できたらいいのに
- ・潮吹防波堤までもっと近づけたら良いと思う
- ・文化財に指定された潮吹防波堤を近鉄四日市駅やJR四日市駅から招く必要がある。

<散策マップのアイデア>

- ・様々な出発点の設定
- ・およその時間、距離の明記
- ・老若男女誰でも読みやすい字の大きさに配慮する
- ・子供も大人も楽しめるマップ
- ・歴史的マップと現在のマップのレイヤーを分ける
- ・現在のマップは、マップのポイントと資源内容の説明が離れているので読みづらい
- ・写真やイラストを用いて見所の説明を付ける
- ・コース上で、昼間と夜間で変化するビューポイントを示す
- ・食事、トイレ、休憩所、駐車場の場所の明記

<その他>

- ・稲葉翁呂功碑の最上部にキャブスタンを復活して!
- ・歩こう会などのボランティア組織も巻き込んでの他市への発信
- ・花街の面影を残す高砂町の家屋を残していく



*1: 出典: 国土交通省中部地方整備局四日市港事務所HP
http://www.pa.cbr.mlit.go.jp/YOKKAICHI/01yo_library/guide.html

Bコース 約2.4km



5

<蔵町通り>
 九鬼肥料店の倉庫と、向こうの洋館は四日市銀行である。

現在の蔵町通り
 ・現在は倉庫群は見られない
 ・倉の面影を残す建物はあった
 ・道が整備されている

3

<開栄橋>
 橋を渡った左手には四日市郵便局があり、半鐘の脇には浜往還の松が見える。橋のたもと右手は四日市倉庫(株)、その奥の洋館は四日市銀行と倉庫や事務所が建ち並んでいた。

現在の開栄橋
 ・松はなくなっている
 ・面影は残っているが道幅が広がっている

4

<四日市灯台>
 明治19年に置かれた四日市灯台の外観を詳しく知ることができる。また、堤防が高く築かれていたこともよくわかる写真である。

現在の状況
 ・灯台の面影はない
 ・周辺には、記念碑や記念公園がある

2

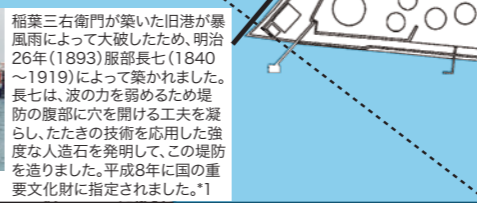
<潮吹防波堤>
 「潮吹防波堤」を(明治27年竣工)を、横断する形で写したもので、「潮吹防波堤」のしくみがよくわかる。

現在の潮吹防波堤
 ・潮吹防波堤の南側は埋め立てられている
 ・防波堤としての機能は現在は果たしていない

6

<相生橋>
 袋町と高砂町を納屋運河上で結ぶこの橋は、両町民の負担で明治23年11月に架けられた。木橋時代。

現在の相生橋
 ・現在は木橋の老朽化に伴い整備されている
 ・アーチ状の橋となっている



まち歩きの結果(南Cコース班)

散策マップのアイデア

- ・四日市港で生まれる製品の情報を載せる
- ・土日は車が少なく、イベントに良い
- ・地図と共に説明してくれる人が一緒に歩くイベントがあると良い
- ・末広橋梁を通る列車の時刻を載せ、末広橋梁の動く姿を見れるようにする
- ・観光協会の電話番号など観光に役立つ情報を載せる
- ・陸海空からアピールする
 - 昼夜の風景
 - 船の遊覧、船上でのパフォーマンス
 - 旧管理組合庁舎からの眺望

新しい発見

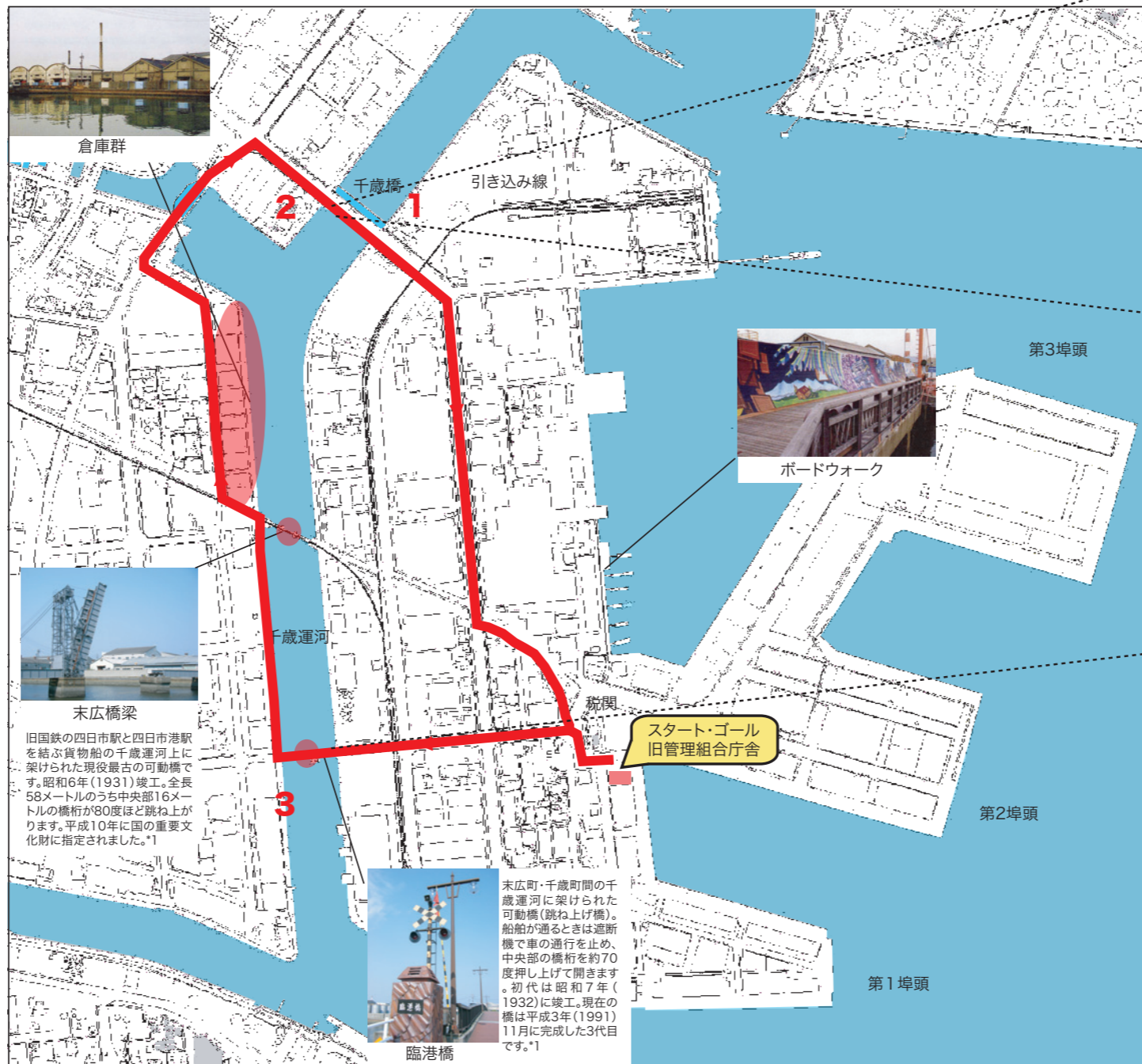
- ・千歳運河の西側のルートが散策向き
- ・多数の防潮扉で千歳町を防護している
- ・防潮堤建設銘板の発見 昭和36年とあった(伊勢湾台風は昭和34年)

休日と土日の差

- ・休日だったので静かだった
- ・休日であったため閑散としていて一人歩きには不安がある
- ・本日歩いたところで行くか見所はあるものの企業の仕事場であるというイメージから一般の人が散策するには抵抗がある。平日はトラックが多く危険

観光のための環境整備

- ・歩道がなく危険な箇所があった
- ・ベンチや花を植えて明るい雰囲気にして欲しい
- ・場所によっては歩道がなく危険
- ・トイレや休憩できる場所があれば散策しやすい
- ・歴史的遺産にはもっと説明看板が欲しい
- ・末広橋梁など開閉する場面がみたい
- ・休憩場所が分かるようにする
- ・末広橋梁のある岸壁側にフェンスがなく危険である
- ・石積みの物揚場を有効活用して欲しい



Cコース 約2.5km

*1: 出典: 国土交通省中部地方整備局四日市港事務所HP
http://www.pa.cbr.mlit.go.jp/YOKKAICHI/01yo_library/guide.html

0 100m 200m 500m



千歳橋
尾上町と千歳町(二号地)を結ぶ千歳橋の完成は、大正15年である。



現在の千歳橋
・橋脚の本数が少なくなっている
・オブジェがなくなっている



千歳橋と四日市博覧会正門
国際振興四日市大博覧会は、四日市港の第二期修築工事完成の記念として二号地にて昭和11年3月25日から5月13日まで開催された。入場者は120万人を超えた。



現在の状況
・バビリオンのあったと思われる場所は倉庫になっている
・当時の面影を感じれる所はない



臨港橋と末広橋梁
初代臨港橋は、昭和7年に完成した。末広橋梁は現役で最古の鉄道可動橋として平成10年12月25日に国の重要文化財に指定された。



現在の臨港橋
・現在の臨港橋は3代目
・船が通るときに開く
・開くときに遮断機が降りる



現在の末広橋梁
・昭和6年から現在まで現役
・電車が通るときに橋が降りる

まち歩きの結果(自転車班)

<自転車散策>

- ・自転車でも意外に時間がかかる
- ・集団での自転車走行はやや危険なところもあり
- ・散策に自転車を想定するなら交通マナーの徹底を!
- ・自転車で廻るにあたり自転車道の整備が望まれる

<名所の説明を分かりやすい場所に>

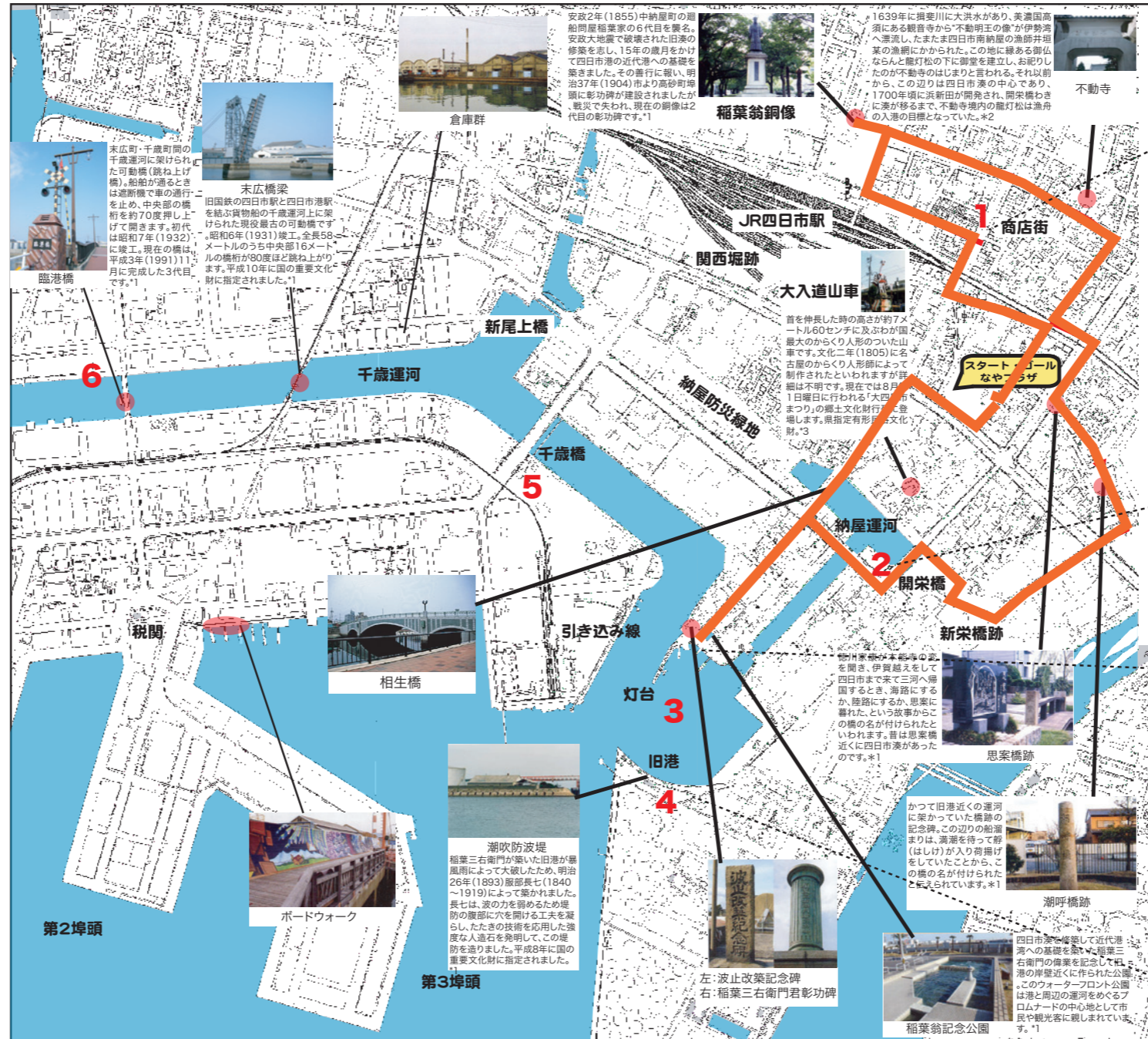
- ・像の説明をわかりやすい位置にした方がよい
- ・稲葉像の説明書きが像の裏側にあることに気づかない
- ・潮呼橋跡の入り口は知らないと気づかない
- ・不動寺・石像等について、ひとつひとつの説明が欲しい
- ・開栄橋・相生橋・新栄橋の案内看板が欲しい
- ・開栄橋・相生橋・新栄橋はむかし運河にかかっていた橋だったが、その説明がない
- ・納屋プラザのある蔵町はそのむかし、倉庫街だったと聞く。その説明も欲しい

<散策全般>

- ・夜に名所がはつきると分かるようにライトアップを
- ・トイレの休憩場所はあったか?
- ・旧港エリア、霞エリアとも親水空間を目指すのか、長期構想の位置づけを含め整理を。
- ・同様のイベントが企画される恐れあり
- ・何時もなにげなく通っていた所に歴史があった
- ・高砂町に6~7軒の古い建物があるが保存の策はなされていない

<散策マップのアイデア>

- ・散策マップは自転車でも携帯しやすいサイズにしてもらいたい
- ・マップに旧運河の位置を点線で書き加えるとイメージが膨らむのでは?
- ・散策マップを作るなら、連動して各施設の解説板の整備ができるとよい(各管理者との調整の上)
- ・マップで紹介するスポットがどこか現地で分かるような説明看板があってもよい。
- ・ルート上に日常生活廃棄物が散見された。日常生活と観光資源にしたいという意識の違いが分かる
- ・港では、休日と平日で使われ方が異なる。休日と平日で入れる場所等の情報を散策マップに掲載してはどうか?
- ・地域住民への配慮が必要。住宅ゾーンと観光ゾーンを分けて、住宅ゾーンに観光客が入らないように散策マップで工夫してはどうか?
- ・所用時間の目安がマップで分かるとうい



自転車コース 約8.8km

0 100m 200m 500m

<潮吹防波堤付近>

- ・防波堤のミニチュアはよくできているが、あまり知られていない
- ・潮吹防波堤を見る場所が危険
- ・旧港の棧橋の保存処置がされていないため危険な状況にある。観光コースにするのであれば要修理。



本町通り
大正11年、伊勢鉄道乗り入れで西駅舎が完成し、商店街はますます栄えた。



現在の本町通り商店街
・アーケードがかり、道幅が広がっている。
・シャッターが下りている店が目につく



開栄橋
橋を渡った左手には四日市郵便局があり、半鐘の脇には浜往還の松が見える。橋のたもと右手は四日市倉庫(株)、その奥の洋館は四日市銀行と倉庫や事務所が建ち並んでいた。



現在の開栄橋
・橋の幅が広がっている。
・松や洋館は現在なくなっている。



四日市灯台
明治19年に置かれた四日市灯台の外観を詳しく知ることができる。また、堤防が高く築かれていたこともよくわかる写真である。



現在の状況
・灯台がなくなっている。
・稲葉三右衛門君彰功碑や波止改築記念碑が置かれている



潮吹防波堤
「潮吹防波堤」を(明治27年竣工)を、横断する形で写したもので、「潮吹防波堤」のしくみがよくわかる。



現在の潮吹防波堤
・防波堤の南側が埋め立てられ、防波堤の機能を持たなくなった。
・防波堤の近くに行くことは不可能。

*1: 出典: 国土交通省中部地方整備局四日市港事務所HP http://www.pa.ctb.mlit.go.jp/YOKKAICHI/01_yo_library/guide.html
*2: 出典: 四日市の昔を語る大樹たし http://happytown.orahoo.com/phphoto/view/v_genre_view.php?UserID=33469&GenreNo=6&GenreOID=6761164
*3: 出典: 四日市市HP <http://www.city.yokkaichi.mie.jp/bunkazai/pages/data/32.html>